

研究者：宮原 琴美（所属：東京医科歯科大学 国際歯科保健スタディグループ）

研究題目：タイ歯科研修ツアー

目 的：

本事業の目的は、歯科学学生がタイの歯科事情を見学・視察し、また、同世代の学生達と英語を使って交流することで、歯科医療ネットワークを形成し、歯学領域における国際協力の在り方について考えることである。

対象および方法：

対象：歯学科4年生10名

口腔保健学科4年生4名

期間：2013年8月29日～9月10日 13日間

場所：タイ王国（バンコク）、CU-TMDU 研究教育協力センター、チュラロンコーン大学（CU）、シーナカリンウィロット大学（SWU）

内 容：

- ・大学付属病院、地域歯科保健活動の現場視察を行い、タイの歯科保健医療状況や歯学教育について理解する。
- ・チュラロンコーン大学（CU）の歯学部学生と交流を行う。
- ・シーナカリンウィロット大学（SWU）の歯学部学生と日本語学科学生と交流を行う。
- ・タイ在留邦人の幼稚園児を対象に歯科健康教育を行う。
- ・タイの小学校へ見学に行き、タイでの子供たちへの歯科教育の方法を学ぶ。
- ・教員が実施する在留邦人対象の海外公開講座（歯の健康セミナー・歯の健康相談会）の補助を行う。

結果および考察：

< CU・SWU 付属病院見学 >

私たちはCUとSWUの付属病院見学をさせていただいた。保存修復、口腔外科、放射線科など様々な診療科を見学した。どちらの大学でも学生は4年生から病院実習を行っており、実際に患者を自分で担当して治療をするので、私たちに比べて早く臨床の技術を学習していることを知った。5年次の後期から臨床に出る私たちには、同世代の学生がひとりの歯科医師として立派に治療している姿を見ることは、これからの勉学へのモチベーションを上げる、とても良い刺激になった。

< CU 学生とのグローバルリトリート >

合宿して研修を行うグローバルリトリートに参加した。最初に学生同士が自己紹介やゲーム、



学生の診療の見学



CU 附属病院の見学



カルチャーナイト



CU の学生とのディスカッション

ぞうさんの童謡を日本語とタイ語で相互に教えて歌うなどして打ち解けた。その後、理想の歯学教育カリキュラムについてのグループワークがあり、両方の大学のカリキュラムに大きな違いがあることを知った。また、CU のカリキュラムはとても厳しく、私たちも頑張らなくてはと刺激を受けた。英語での討論は、通常の英会話よりも何倍も難しいと実感した。お互いの文化を紹介し合うカルチャーナイトでは、私達は茶道のお手前と盆踊りを発表した。タイの学生は、女性が長い爪をつけて踊る伝統的なダンスを披露してくれた。この文化交流を通して学生間の距離がとも縮まり、仲良くなれてネットワークができ、とてもすばらしい体験であった。

＜SWU 日本語学科との交流＞

シーナカリンウィロット大学の日本語学科学生とは、簡単な自己紹介の後、お互いに自国の文化や気候や食生活についてプレゼンを行い、その後民族衣装を着せ合うなど、文化交流をした。タイの地形は大きく分けて4つに区分されることや、季節は暑気と雨季と乾季の3つに分かれること、マンゴスチンやマンゴーなどの農作物が豊富に採れることをプレゼンで学んだ。日本語学科の学生は私たちの想像以上に日本語が話せて、コミュニケーションを気軽にすることができ親交は深めやすかった。

＜幼稚園での健康教育＞

タイに住む日本人の子どもたちが通うレインボー幼稚園において、健康教育を行った。3歳児、4歳児、5歳児のクラスそれぞれに紙芝居や演劇を通じて食事の前に手洗いをすることや、



タイの民族衣装



日本語でのプレゼン



幼稚園での歯磨き指導



幼稚園での健康教育

食後に歯磨きをすることの重要性を説明した。また最後に園児5人のグループを学生一人が担当して、あらかじめ日本で購入した歯ブラシを一人一本配って歯磨き指導をし、歯磨きカレンダーを配って健康教育を行った。タイへ行く前にこの準備に取り掛かったが、初めての健康教育だったので、どう子どもたちに分かりやすく伝えるか、集中して聞いてもらえるのかなどを考えるのが難しく感じた。当日は、子どもたちも非常に協力的で静かに話をきいてくれて、在留邦人の健康支援に貢献できる良い機会となった。

<小学校での地域歯科保健の見学・研修>

バンコクにある小学校を訪問した。隣の寺院の建物を借りてCUの学生が子どもたちの歯科検診を行っていた。貧富の差が激しいタイではなかなか歯科医院に行けない家庭もあり、このような活動はとても重要だと感じた。また子どもたちは給食を食べた後、それぞれ自分の歯ブラシとコップを持って、校庭で一列になって歯磨きをする場面を見ることができた。このように、小学生から歯磨きの大事さをしっかりと教え、習慣づけているところは素晴らしいと思った。

<海外公開講座>

在留邦人を対象に、本学教員が歯の健康に関するセミナーを行った。また、個室の相談室を作り、日本人歯科医師（本学の教員）とタイ人の歯科医師が歯と口の悩みや質問に個別に答えた。私たち学生は受付や案内を行うとともに、児童生徒に歯磨き指導を行い、在留邦人の健康支援に貢献した。

今回の研修に参加したことにより、タイの歯科事情や文化など、日本にいただけでは体感する



CU 歯科学学生による小学生の歯科検診



小学校での歯磨き



教員による公開講座



公開講座受付

ことのできないことを経験させていただき、これから国際的な歯科医師を目指す私たちにとって非常に貴重な体験となった。タイの学生の臨床実習の期間が私たちに比べて長いと知ったことや、英語でのコミュニケーション力不足を思い知ったことは私たちの良い刺激となり、さらなる向上心へとつながった。短期間ではあるが、たくさんのことを吸収できたことで、海外だけでなく日本の歯科事情に対する関心や、国際協力への関心がより深まった。

成果発表：報告書の作成および歯学部（歯学科・口腔保健学科）3年生への報告会